

令和6年度第5回 実務実習ガイドライン改訂ワーキンググループ会議  
議事次第

日 時 : 令和6年11月7日(木) 10:00~12:00(予定)

Zoom会議

会 場 : ホスト会場:日本薬学会長井記念館4F 薬学教育協議会事務局

議 題 : 1追加の実習について(資料1, 2)

2その他

<配付資料>

資料1 臨床における実務実習に関するガイドライン(令和5年12月)に記載された「追加の実習」  
に関する対応方針(案) ver.2

資料2 追加の実習スケジュールの概要

## 臨床における実務実習に関するガイドライン(令和5年12月)に記載された「追加の実習」に関する対応方針(案) ver.2

### (1) 薬学教育の現状

薬剤師に求められている役割や業務は大きく変化し、それに伴い薬学実務実習に対して期待される役割は非常に大きい。

また、薬学部を卒業した学生の進路は他の医療系学部と比較すると多様化しており、薬局・病院だけでなく、医薬品・化学関連企業や衛生行政・大学等様々な進路選択(※1)があることが薬学部の特徴の一つである。

さらに、実務実習終了後、臨床現場での学修(実習)を実施している大学は24大学(※2)であり、地域医療を学ぶ実習、臨床開発を担うための知識・技能を習得するための実習、海外での実務研修等各大学で工夫した実習が行われているところ。

※1 「薬系大学卒業生・大学院修了者の就職動向調査の集計報告(令和5年3月)」によると、卒業生のうち就職先は、薬局4,652名(48.3%)、病院・診療所1,998名(20.7%)、医薬品・化学関連企業691名(7.2%)、衛生行政・大学等217名(2.3%)、進学172名(1.8%)、医薬品販売業127名(1.3%)、その他1,772名(18.4%)

※2 薬学実務実習の現状確認と更なる充実改善に向けたアンケート集計結果(令和5年度 薬学教育協議会)

### (2) 対応方針

#### ①名称について

ガイドラインに記載している「追加の実習」という語句は、薬剤師としての臨床に係る実践的な能力の更なる向上を目指す新たな実習であるとともに、薬剤師の多様な進路に対応した実習・研修を企図していることから、「薬学実践実習(案)―(仮称)―」とする。

#### ②目的について

「薬学実践実習(案)―(仮称)―」は将来の薬剤師としての実務に必要な薬学に関する臨床に係る実践的な能力を培うことを目的として大学の附属病院その他の病院及び薬局で行う実習(以下「薬学実務実習」という。)の単なる延長ではなく、将来学生が進む進路のために必要だと考える能力の修得、自らに必要な能力の向上を図るための補完するための選択制の実習・研修とする。例えば、以下のような実習・研修が考えられるが、今後、大学、医療施設、関係機関等と連携し当該趣旨を踏まえて検討を進めていただきたい。

―なお、医療施設での当該薬学実践実習研修は現行の実務実習(薬局と病院の連続性のある22週間)の単なる延長ではなく、薬剤師としての臨床に係る実践的な能力の更なる向上を図る目的であることに留意する。―

#### 【薬学実践選択実習の事例】

- ・薬剤師不足地域において地域連携を学ぶ病院・薬局薬局実習
- ・先導的薬剤師を目指す病院・薬局病院実習
- ・臨床研究(主に臨床現場で行なう臨床をテーマとした研究)
- ・製薬企業、行政、PMDA等での実習・研修

※薬局または病院等の医療施設で実習研修を行う場合は、薬学教育協議会地区調整機構で混乱しないよう調整に努めることとする。

### ③時期・期間について

当該薬学実践実習研修の期間は8週間程度実施できることを目指す。医療施設での薬学実践実習の時期については、薬学実務実習の後に行うことが望ましい。薬学実務実習と同じ施設で継続して実施する実習や、実習内容を指定した特定の医療施設での実習等が考えられる。

薬局-病院の順番に連続して実習を行なうことが原則であるが、大学において薬学実践実習のスケジュールを考慮し教育効果を高めるための実習を計画することは差し支えない。

~~して、実施時期も含め、今後、大学、医療施設、関係機関等と連携して検討を進めていただきたい。~~

### <参考：臨床における実務実習に関するガイドライン（令和5年12月）（抜粋）>

22週の実務実習終了後、各学生の希望と各大学が有する教育資源に応じ、病院又は薬局で行う追加の実習を選択で実施し、臨床に係る実践的な能力の更なる向上を図る。この追加の実習等を8週間程度実施できることを目指して、大学は環境の整備に努める。また、追加の実習を実施することによる効果を検証し、将来の薬学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に向けて、実務実習の更なる充実を検討する。